

国連の掲げる「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に観光を通じて貢献していく――

和歌山大学国際観光学研究センター(CTR)は、健全で持続可能な社会の発展に寄与するというミッションの下、観光学研究を推進しています。2018年度は「観光とSDGs」を年間テーマとして、さまざまなセミナーを開催します。



自然災害から復興する力の強化はSDGsの一部であり、10もの項目と関連します。日本の観光産業は急成長している一方、その躍進を妨げかねない自然災害のリスクを抱えています。そのため、訪日観光客には事前に避難情報を含む適切な災害関連情報を提供することが求められています。このような取り組みは、観光客と観光産業の両方を守ることにもつながります。本セミナーでは、これらの背景と、科学研究費の助成を受けて進めている訪日観光客向けの災害情報システム開発に関する研究プロジェクトの概要、及び調査結果の一部も紹介します。

* 事前の申込不要、参加無料。

* セミナーは、英語で行われます。

Reducing Vulnerability for International Tourists and the Japanese Tourism Industry: Towards a Tourist Hazard Information System

2018年 6月 8日 (金) 14:50～16:20

会場 和歌山大学 国際観光学研究センター会議室
(西1号館 107会議室)



講師

Prof. Brent W. Ritchie

和歌山大学特別主幹教授、CTR Tourism Management ユニットリーダー /
クイーンズランド大学教授



お問い合わせ先

和歌山大学 国際観光学研究センター

〒640-8510 和歌山市栄谷930 西1号館(経済学部南棟)1階

TEL : 073-457-7025 FAX : 073-457-7886

Email : info-ctr@center.wakayama-u.ac.jp

HP : <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>